

背景・課題

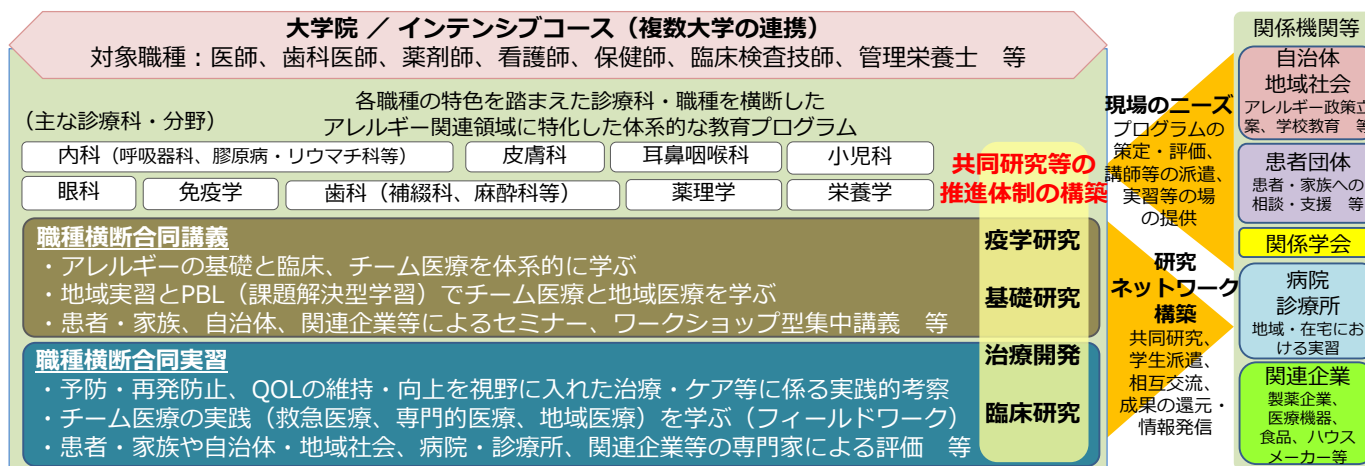
- 我が国の約2人に1人が何らかの症状を持つと推定されているアレルギー疾患に対して、適切な治療を提供するためには、**疾患の多様性や患者の特性を踏まえた個別化医療を実践することが重要。**
- 発症・重症化の要因が判明していないアレルギー疾患も多く、これらの解決に向けた**関係機関との連携体制の構築も必要。**
- 現在、国内の大学では、**アレルギーの原因メカニズムの解明やアレルギー疾患における予防から専門的な治療、再発防止までを見据えた教育環境が十分に整備されていない。**

取組内容

複数の大学が連携し、大学院課程において、予防から治療・ケア、患者の生活の質（QOL）の維持・向上のための支援までを見据え、自治体・患者会等の**関係機関とのネットワークを構築**し、患者の年齢等の特性・社会的背景やアレルギーマーチへの対策等を視野に入れた、診療科や職種を横断した体系化された新たな教育プログラムを確立し、**アレルギー疾患に横断的・総合的に対応できる一貫した知識・技能を有する専門医療人材の養成**に取り組む。

－事業期間（予定）：最大3年間 財政支援（2019年度～2021年度）※1件 × 2,500万円（予定）

【取組イメージ】



期待される成果

年齢や個々の患者の状態に応じた科学的知見に基づく良質かつ適切なアレルギー疾患治療及び心のケア等の**横断的な医療の提供**や、アレルギー疾患医療の均てん化に向けた**地域における総合的なアレルギー対策が推進**されることにより、**疾患の悪化や再発を防止し、アレルギーマーチの予防や患者のQOLの維持・向上を実現。**

背景・課題

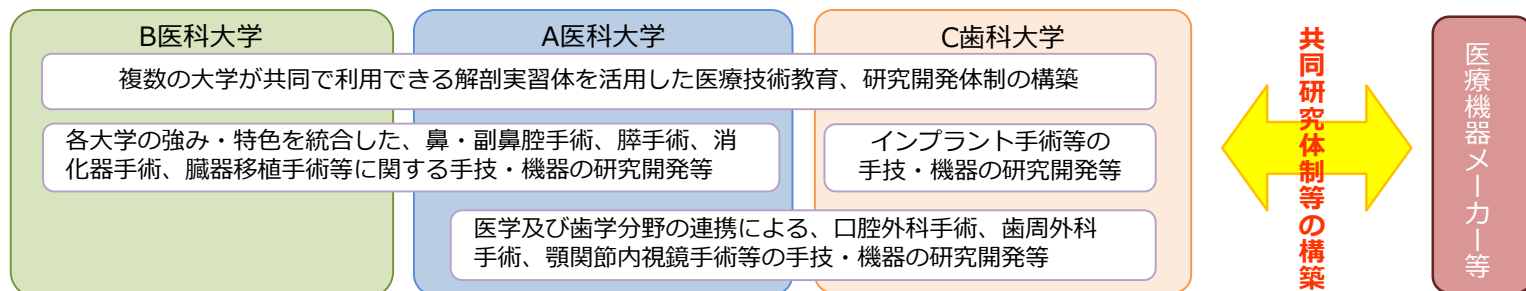
- 近年、増加する高度な医療機器を用いた外科治療の安全性に対するニーズが高まっており、解剖実習体を用いた手術手技の検証が必要。
- 国内での医療の発展を推進する観点から、我が国における解剖実習体を活用した医療機器開発のニーズが高まっている。
- 現在、国内の大学では、解剖実習体を活用して手術手技等を学ぶ教育環境が十分に整備されていない。

取組内容

医学分野と歯学分野における複数の大学が連携し、大学院課程において、解剖実習体を活用した詳細な解剖学的知識や高難度手術に対応した手技、医療機器の研究開発に資する体系化された新たな教育プログラムを確立することにより、医療を支える安全・安心な高難度手術等の高度医療を提供できる専門医療人材の養成に取り組む。

－事業期間（予定）：最大3年間 財政支援（2019年度～2021年度）※2件 × 3,000万円（予定）

【取組イメージ】



※メディカルスタッフ（看護師、薬剤師等）及び医療機器開発担当者等についても、見学等を通じて参画

期待される成果

安全で高度な手術手技を広く普及させるとともに、新たな手術手技の研究や医療機器の安全性や有効性を検証する臨床研究等を推進するための環境整備を通じて、我が国における高度な医療を安心して受けられる医療基盤の確立及び医療の質の向上、臨床医学の更なる推進を実現。